

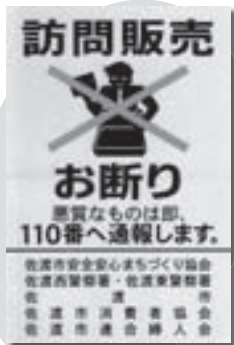


男女共同参画事業講演会が開催されました 1月24日

新穂のトキのむら元気館で「少子高齢化のまちづくり」と題して講演会が開催されました。講師に(財)新潟県女性財団の大島照美子理事長をお迎えして、少子高齢化の今の時代において持続可能な活力あるまちづくりをするためには、「男性だから、女性だから」という社会通念や習慣を見直し、個人を認め合いだれもが自分らしく生きることのできる社会になるように協力し合うことの必要性について講演していただきました。参加者からは「男女共同参画社会の必要性がよく伝わった」「夫婦一緒に聞けると共通認識を持てるので効果的だと思う」などの感想が寄せられました。今後も、男女共同参画社会の実現に向けて取り組みを行ってまいりますので、皆さまのご理解とご協力をお願いします。(お問い合わせ 市役所 企画振興課 ☎63-4152)



悪質訪問販売 お断り! ステッカーで被害を防ごう 2月6日



左から市連合婦人会会長の志和さん、市消費者協会会長の橋本さん、市消費者協会の渡辺さん

佐渡市安全安心まちづくり協会が作製した「訪問販売お断りステッカー」の贈呈式が行われ、市安全安心まちづくり協会長の高野市長と、佐渡西・佐渡東の警察署長から、市連合婦人会、市消費者協会の代表へステッカーが手渡されました。このステッカーは悪質な訪問販売からの被害を防ごうと作製されたもので、市連合婦人会、市消費者協会の協力で各世帯へ配布されます。市内では、悪質な業者による被害が増えています。特に一人暮らしの高齢者の方は、ご注意ください。

小木 今年の豊作を祝う 小比叡神社で田遊び神事 2月6日

小比叡神社田遊び神事は、神社の拝殿を田に見立て、一年の田仕事を演じてその年の豊作を祝う神事で、市指定の無形民俗文化財となっています。田人(田植え人)役とむくろ(カラスやモグラ)役に分かれ、田人が田仕事をユーモアを交えながら演じたり、むくろが田人の顔に墨を塗って邪魔をしたり、田人を木に縛りつけて大暴れしたりすると、見物に集まった方々からは笑い声が沸き起こっていました。



畑野 第7回 まっさき食の陣 2月8日



地域活性化を目指す松夢会主催の「まっさき食の陣」が多田ゲートボール場で開催され、約1500人が

訪れました。会場は、3種類の味つけで楽しむ鱈の刺身、鮮魚、地場産品などを目当てに集まった人々の弾む会話で大いに賑わいました。名物「キジそば」は食券販売になり、恒例の「長蛇の列」が解消され、安心して場内見物ができました。地元出身歌手本間圭子さんと赤泊演劇研究会のステージも大盛況。ちょっと冷えたら鱈汁・甘酒・深層水の足湯と、心も体も大満足の日でした。

両津

力作がずらり 第5回村展 (住吉作品展) 2月11日~15日



両津健康保養センター湯元を会場に、「住吉むら展」(作品展)が開催されました。

会場には住吉地区に住む幅広い年齢層の作品が数多く展示された

ほか、住吉地区にゆかりのある方などの作品も展示されました。訪れた方々は作品を通して会話が弾み、住民同士の交流を深める、ぬくもりのある作品展となりました。

